

臨床心理室

1. スタッフ構成

- 穂吉 眞之介(新生児内科主任部長、総合周産期母子医療センター副センター長、臨床心理室長)
- 青木 真妃、垣生 真由子、三好 真佑、田中 梨絵、田邊 瞳

2. 認定資格取得

資格名	資格取得者
文部科学省・厚生労働省 公認心理師	青木真妃、垣生真由子、三好真佑、 田中梨絵、田邊瞳
日本臨床心理士資格認定 協会臨床心理士	青木真妃、垣生真由子、三好真佑、 田中梨絵、田邊瞳

3. 運営方針

- (1) 常に患者さんやそのご家族のところに寄り添うことに努めます。
- (2) 科をまたいでの継続的・長期的な支援、入院治療後の外来でのフォローや療育機関等との連携など、きめ細やかな心理的支援を行います。
- (3) チーム医療の一員として他職種と連携を取り、心理学的知見を活用して、医療サービスの質の向上に貢献します。

4. 実績

<業務内容>

2004 年度から主に、総合周産期母子医療センター、小児科を中心に、心理業務を行っています。2017 年度からは、6 名体制(正職員 2 名、非常勤職員 4 名)となりました(現在 1 名欠員)。

- (1) 総合周産期母子医療センター
 - ・ 産前産後の母親へのメンタルヘルスケア(入院・外来)
 - ・ NICU・GCUに入院中の赤ちゃん(早産、低出生体重児、先天性疾患、多胎児等)のご家族への心理的サポートおよび医療スタッフとの連携
 - ・ ご家族への看取りのサポート、亡くなった後のグリーフケア(入院・外来)
 - ・ 極低出生体重児(1,500g未満)を中心としたハイリスク児の発達検査、知能検査および発達相談(1歳半、3歳、6歳、8歳、11歳時)(外来)
 - ・ 2週間健診でのフォロー
- (2) 小児科
 - ・ 慢性疾患を持つ長期入院児およびご家族への心理的サポート(入院)
 - ・ ご家族への看取りのサポート、亡くなった後のグリーフケア(入院・外来)
 - ・ 心身症の児およびご家族へのカウンセリング(入院・外来)

- ・ 発達障害児およびその疑いのある児への発達検査、知能検査および発達相談(外来)
 - ・ 虐待ハイリスクの児およびご家族への対応(入院・外来)
 - ・ 福祉書類作成のための発達検査、知能検査(外来)
- (3) その他
 - ・ 成人診療科(入院・外来)および救命救急センター(救急外来・ICU)のカウンセリング
 - ・ 腎移植第三者面談およびカンファレンス出席
 - ・ 職員のメンタルヘルス(新人看護職員研修講師、個別のカウンセリング等)
 - ・ 県立新居浜病院・県立今治病院への診療応援

<業務実績>

2023 年はスタッフの欠員が補充されたことで全体的に利用件数が増加しました。検査件数は年々減少していますが、構造化面接回数は増加傾向にあります。

■ 臨床心理室利用件数

	2022	2023
検査	434	387
構造化面接	1,224	1,483
非構造化面接	1,533	1,726
合計	3,191	3,596

【検査】

- ・ 医師の依頼による発達・知能検査および性格検査
- ・ 知能検査は1回につき1～3時間
- ・ 性格検査は1種類につき5分～1時間などさまざま、数種類の検査を組み合わせる実施することが多い

【構造化面接】

- ・ 治療のため、面接時間や場所、回数等についての明確な契約を行った面接
- ・ 外来においては基本50分(場合によっては90～120分)臨床心理室にて行い、入院においては20～60分程度、病棟の個室や面会室等にて行ったもの

【非構造化面接】

- ・ 面接時間や場所等の明確な契約を行っていない面接
- ・ NICU内での面談や病棟ベッドサイドでの面談、外来来院時の接触等が含まれる

■ 検査内容と依頼件数

	新生児内科		小児科		精神科		今治病院		新居浜病院		その他		合計	
	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023
発達・知能検査														
遠城寺	6	4	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	8	5
新版 K 式	152	125	27	20	0	0	9	2	21	20	0	0	209	167
K-ABC または KABCII	72	59	11	4	0	1	0	0	0	0	0	0	83	64
WISC-IV	0	1	45	55	2	0	0	0	17	16	0	0	64	72
田中ビネー	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1
WAIS-IIIまたは WAIS-IV	0	0	2	0	2	4	0	0	2	0	2	0	8	4
PARS-TR	0	0	0	0	0	0	0	0	21	17	0	0	21	17
性格検査														
バウムテスト	0	0	13	20	0	1	0	0	2	0	0	0	15	21
P-F スタディ	0	0	13	19	0	0	0	0	2	0	0	0	15	19
ロールシャッハ	0	0	6	15	0	0	0	0	1	0	0	0	7	15
その他	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2
合計	230	189	120	134	5	8	9	2	68	54	2	0	434	387

検査数は少子化の影響か、特に新生児内科で減少傾向にあります。

■ 診療科別面接依頼件数

依頼内容	2022	2023
救急科		
精神疾患既往	1	0
心身症	1	0
自殺企図	0	1
事故後の心理的フォロー	0	2
小計	2	3
産婦人科		
社会的ハイリスク	3	1
不安	6	11
死産	5	9
胎児異常	0	1
気分の不安定さ	4	1
長期入院等による気分の落ち込み	1	2
うつ病・うつ状態(妊娠中)	0	0
産後うつ	0	4
摂食障害(疑い含む)	0	0
小計	19	29
小児科		
心身症(疑い含む)*	23	26
腫瘍等	2	2
血液疾患	4	4
自己免疫疾患	1	7
脳症	1	1
腎疾患	1	0
児の疾病に対する家族の不安	3	1
発達障害(疑い含む)	1	1
抜毛症・爪噛み・チック症	1	1

事故後の心理的フォロー	0	1
小計	37	44
泌尿器科		
腎移植ドナー	13	18
移植後の心理的フォロー	0	1
小計	13	19
皮膚科		
疾病に対する不安	1	0
消化器内科、消化器外科		
不安・うつ	1	0
心身症疑い・心因性の疑い	0	4
小計	1	4
呼吸器内科		
不安・うつ	1	0
心臓血管外科		
長期入院による気分の落ち込み	1	0
術後の気分の落ち込み	0	2
小計	1	2
循環器内科		
長期入院による気分の落ち込み	2	0
整形外科		
自殺企図	0	1
長期入院による気分の落ち込み	1	0
小計	1	1
精神科		
うつ病・うつ状態	0	1
自殺企図	0	1
小計	0	2
総合診療科		
心身症	3	0
眼科		

視力低下への不安	0	1
ペインクリニック		
不安	0	1
漢方内科		
うつ状態	0	1
新居浜病院		
小児科	0	2
職員メンタルヘルス	5	6
合計	86	115

※起立性調節障害、食欲不振、頭痛、胃痛、腹痛、過敏性腸症候群、関節痛、嘔吐、めまい等の症状を伴う

面接依頼件数は、前年に比べて増加しました。小児科、産婦人科、腎ドナー面接が多くを占めている傾向は例年と同様ですが、産婦人科の依頼が前年より増加しています。

新生児内科については、2019年4月からNICU入院児全例に介入することとしているため、新生児内科からの依頼は計上していません。

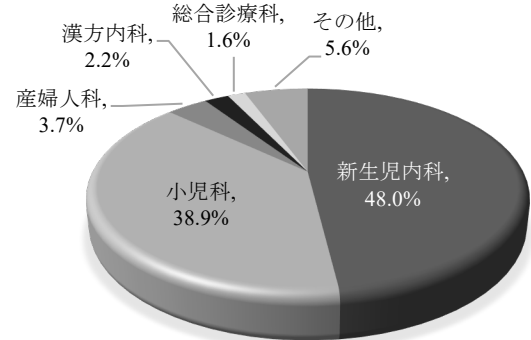
■ 構造化・非構造化面接回数

	構造化		非構造化	
	2022	2023	2022	2023
入院				
救急科	4	21	6	5
産婦人科	25	72	13	30
新生児内科	45	21	1,164	1,126
小児科	190	281	79	217
小児外科	19	20	1	0
消化器内科	0	21	1	10
呼吸器内科	3	0	0	0
脳神経内科	0	0	3	0
脳神経外科	0	0	1	0
循環器内科	3	0	2	0
心臓血管外科	3	4	0	1
整形外科	2	10	2	4
皮膚科	0	0	1	0
眼科	0	4	0	0
総合診療科	9	0	0	0
外来				
ペインクリニック内科	21	19	0	2
産婦人科	51	65	13	16
新生児内科	7	10	118	147
小児科	689	765	123	155
小児外科	19	20	1	0
腎移植ドナー・レシピエント	14	17	0	0
泌尿器科(腎移植以外)	8	5	1	0
乳腺・内分泌外科	4	5	0	0
消化器内科	0	8	0	1
消化器外科	0	8	0	0
精神科	11	16	1	4
漢方内科	57	62	3	3
総合診療科	34	5	1	0

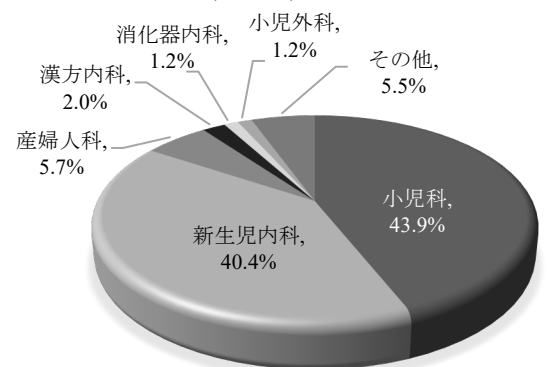
その他				
新居浜病院	7	20	0	0
今治病院	1	0	0	0
職員メンタルヘルス	17	24	0	5
合計	1,243	1,503	1,534	1,726

構造化面接回数、非構造化面接とともに増加しました。中でも、小児科や産婦人科で増えています。産婦人科からの心理介入依頼の増加が、面接回数にも影響しています。

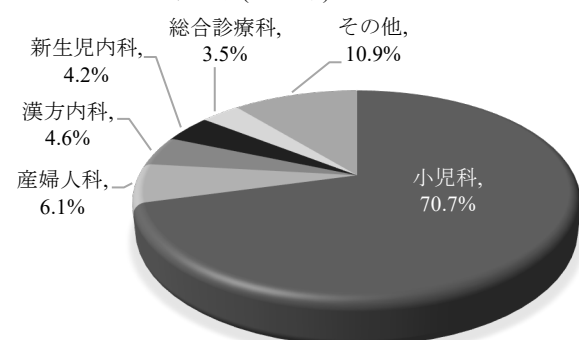
■ 各科における面接回数(2022年)



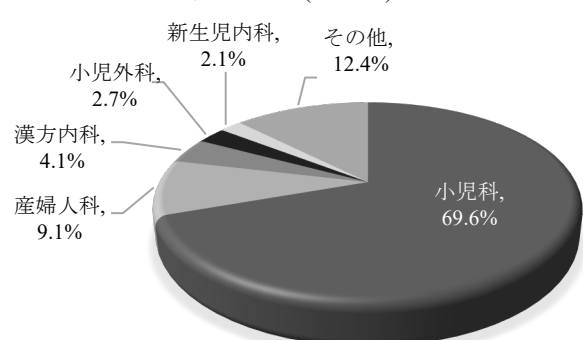
■ 各科における面接回数(2023年)



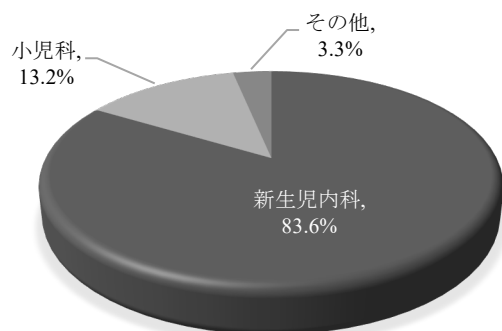
■ 各科における構造化面接(2022年)



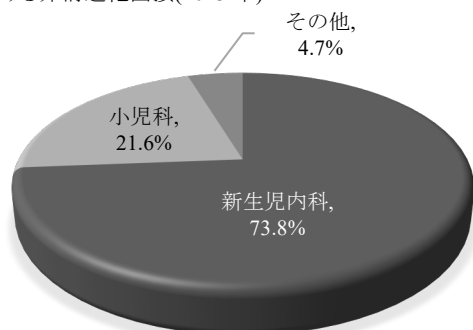
■ 各科における構造化面接回数(2023年)



■ 各科における非構造化面接(2022 年)



■ 各科における非構造化面接(2023 年)



■ 電話対応件数

	2022	2023
相談 ^{※1}		
新生児内科	9	13
小児科(小児外科含む)	18	17
産婦人科	3	1
精神科	1	8
その他の診療科	1	2
新居浜病院	0	2
メンタルヘルス	1	0
その他	1	0
小計	34	43
地域連携 ^{※2}		
新居浜病院	2	16
今治病院	2	4
松山市子ども総合相談センター	5	3
愛媛県福祉総合支援センター	4	11
その他	7	20
小計	20	54
予約 ^{※3}		
新生児内科	152	82
小児科(小児外科含む)	93	116
産婦人科	2	1
その他の診療科	11	3
新居浜病院	6	5
今治病院	3	2
その他	2	3
小計	269	212
その他		

新生児内科	13	6
小児科(小児外科含む)	4	2
産婦人科	1	0
新居浜病院	4	0
今治病院	1	0
その他	0	1
小計	23	9
合計	346	318

※1)電話による相談

※2)県や市町等の機関との連携

※3)外来のカウンセリング予約や定期的な発達検査等の呼び出しを含む

■ 検査結果説明[※]

	2022	2023
新生児内科	0	2
小児科	66	59
精神科	4	3
今治病院	0	2
合計	70	66

※知能検査や性格検査の結果や、それを踏まえた今後の対応について、後日、保護者やご本人に対して説明

■ IC 同席[※]

	2022	2023
新生児内科	44	44
小児科	5	4
産婦人科	0	1
その他	0	2
合計	49	51

※治療方針の情報共有とともに、IC 時のご本人やご家族の様子を踏まえて、IC 後に心理的フォローを行う

■ カンファレンス出席[※]

	2022	2023
新生児内科	1	5
小児科	16	21
産婦人科	10	4
腎移植	12	14
中四国小児がん支援部会	2	2
AYA世代支援チーム	0	4
がんサージボード	2	3
関係機関	11	19
今治病院	0	3
新居浜病院	0	10
その他	3	5
合計	57	90

※他科とのケースカンファレンス:コメディカルとして出席し、心理的な見立てについての情報提供や今後の支援の方向性についての情報共有や意見交換等を行う

■ 情報提供[※]

	2022	2023
保護者・本人	248	227
新居浜病院	64	55
今治病院	20	7

その他	32	35
合計	364	324

※当院での心理検査結果やカウンセリング記録を保護者の了承のもと他機関へ情報提供したもの

■ 院内研修講師等

開催日	研修会	テーマ	講師
4月4日	新規採用看護職員I期オリエンテーション	ストレスの対処法について	平野美輪
5月11日	新規採用看護職員研修	ストレスマネジメント	平野美輪
6月8日	看護部固定チームリーダー研修	アサーティブコミュニケーション	平野美輪
10月27日	新卒新規採用看護職員リフレッシュ研修	ストレスマネジメント	平野美輪

■ その他の活動

委員会およびカンファレンス	参加者
治験審査委員会/臨床研究審査委員会	平野美輪
虐待防止委員会	平野美輪
小児医療センター運営委員会	平野美輪
中国四国ブロック小児がん相談支援部会	青木真妃
AYA世代がん患者支援チームカンファレンス	青木真妃
小児病棟化学療法カンファレンス	担当者
腎移植カンファレンス	担当者
BFH連携会	平野美輪
愛媛県福祉総合支援センター連絡会	平野美輪
松山市子ども総合相談センター連絡会	平野美輪

5. 2024 年度目標

- (1) 患者さんやご家族の不安や葛藤に寄り添います。特に、親子の絆を育む時期である周産期において、きめ細やかな心理的支援を行います。
- (2) 他職種と連携しながら、患者さんやご家族、スタッフのこころのケアに取り組みます。
- (3) スタッフのより一層の技術の向上に努めます。

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 垣生真由子、平野美輪、青木真妃、三好真佑、田中梨絵、矢野薫、亀吉眞之介、長尾秀夫(愛媛大学名誉教授)。極低出生体重児の就学前フォローアップ時期についての検討－KABC-IIIは5歳・6歳のどちらが適切か。第49回ハイリスク児フォローアップ研究会。東京 (2023.6.4)
2. 垣生真由子。ワークショップ 2「フォローアップの進歩と調和～皆で目指すフォローアップ」フォローアップでの心理士の役割(演題 4)。第59回日本周産期・新生児医学会学術集会。名古屋 (2023.7.9-11)